

資料2

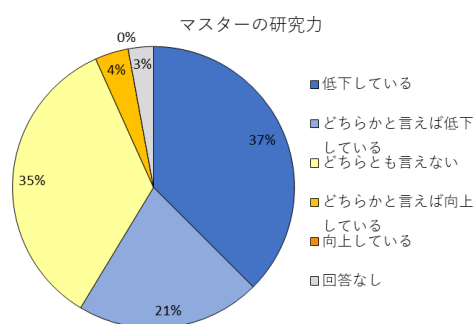
アンケート集計結果 —アカデミア—

回答者背景

地区	人数	所属（人数）
北海道・東北	8	北海道大学(2)、東北大学(1)、弘前大学(2)、岩手大学(1)、山形大学(2)
関東・甲信越	29	筑波大学(3)、埼玉大学(1)、千葉大学(2)、群馬大学(1)、東京大学(2)、東京工業大学(2)、新潟大学(1)、首都大学東京(1)、横浜市立大学(2)、東海大学(1)、東京医科歯科大学(2)、東京慈恵会医科大学(1)、早稲田大学(1)、青山学院大学(1)、東京電機大学(1)、東京農業大学(1)、明治大学(2)、明治薬科大学(1)、東京薬科大学(1)、東京理科大学(1)、立教大学(1)
北陸・東海	10	金沢大学(1)、静岡大学(2)、名古屋大学(3)、基礎生物学研究所(3)、名古屋市立大学(1)
近畿	26	京都大学(4)、大阪大学(4)、神戸大学(3)、大阪市立大学(1)、兵庫県立大学(1)、奈良先端科学技術大学院大学(1)、近畿大学(2)、甲南大学(6)、立命館大学(2)、京都薬科大学(1)、長浜バイオ大学(1)
中国	7	広島大学(4)、山口大学(1)、鳥取大学(1)、島根大学(1)
四国	4	愛媛大学(3)、香川大学(1)
九州・沖縄	20	九州大学(6)、熊本大学(5)、長崎大学(2)、佐賀大学(1)、鹿児島大学(4)、宮崎大学(1)、九州栄養福祉大学(1)
計	104	55 大学・研究機関

Q1. 回答者の学科におけるこの10年のマスターの研究力の変化

低下している	39	37.5%
どちらかと言えば低下している	22	21.2%
どちらとも言えない	36	34.6%
どちらかと言えば向上している	4	3.8%
向上している	0	0%
回答なし	3	2.9%
計	104	100%



Q2. マスターの研究力が低下した理由（別表 Q2 参照）

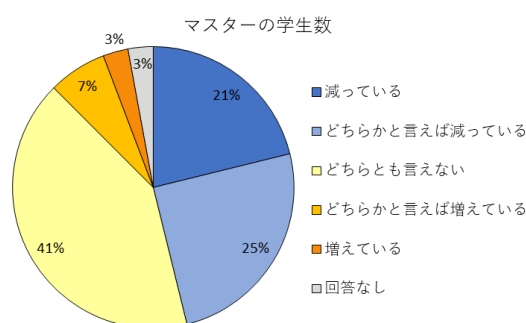
主な意見：

- 英語や論理的思考などの基礎的能力が低下している。受け身の学生が増えている。
- 優秀な学生の就職がすぐに決まり、大学院に進学しないため
- 大学院の入試が簡単になっており、入学に当たって競争が無くなったこと。
- 就職活動に費やす時間の増加
- 大学での教員多忙化、助教・博士学生などラボスタッフ減少によるマンツーマン教育の困難さ

- 大学院進学において旧帝大に進学する学生が増えており、地方大学大学院に質の高い学生が残りにくくなっている。
- 博士後期課程に所属する先輩が経済的なサポートを必ずしも受けられない現実などが拍車をかけている。

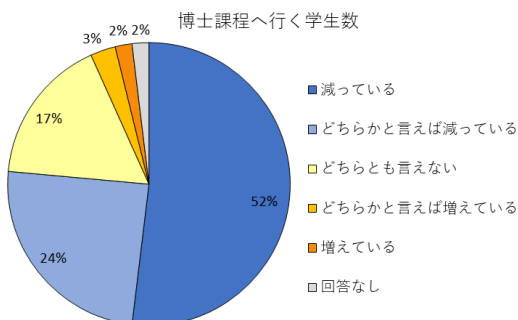
### Q3-1. 学科のマスターの学生の数

減っている	22	21.2%
どちらかと言えば減っている	26	25.0%
どちらとも言えない	43	41.3%
どちらかと言えば増えている	7	6.7%
増えている	3	2.9%
回答なし	3	2.9%
計	104	100%



### Q3-2. 博士課程へ行く学生の数.

減っている	54	51.9%
どちらかと言えば減っている	25.5*	24.5%
どちらとも言えない	17.5*	16.8%
どちらかと言えば増えている	3	2.9%
増えている	2	1.9%
回答なし	2	1.9%
計	104	100%

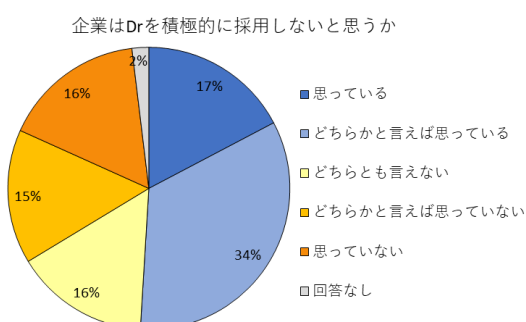


\*「どちらかと言えば減っている/どちらとも言えない」回答1をそれぞれ0.5とした。

### Q4. マスター及び博士課程へ行く学生数が減っている場合の理由 (別表 Q4 参照)

### Q5. 「企業は博士課程修了者 (以下 Dr) を積極的に採用しない」と思いますか

思っている	18	17.3%
どちらかと言えば思っている	35	33.7%
どちらとも言えない	16	15.4%
どちらかと言えば思っていない	16	15.4%
思っていない	17	16.3%
回答なし	2	1.9%
計	104	100%



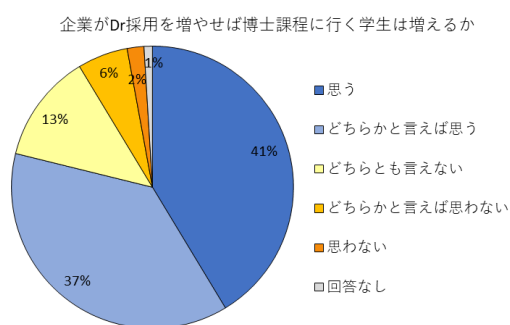
### Q6. 「企業はDrを積極的に採用しない」と思う理由について (複数回答可)

「思っている」「どちらかと言えば思っている」と回答した53名のうち

企業はDrをマスターより興味の幅が狭くなっていると考えている	22/53	41.5%
企業はDrをマスターより柔軟性が低いと考えている	30/53	56.6%
その他 (別表 Q6 参照)	37/53	

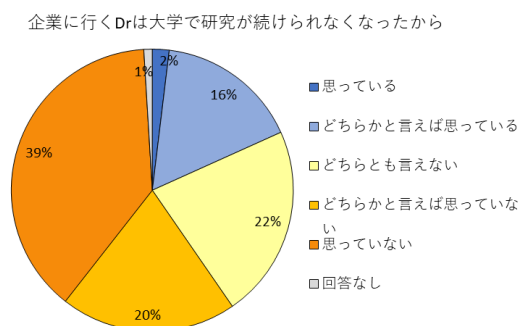
Q7. 「企業が Dr 採用を増やせば博士課程に行く学生は増える」と思いますか

思う	43	41.3%
どちらかと言えば思う	39	37.5%
どちらとも言えない	13	12.5%
どちらかと言えば思わない	6	5.8%
思わない	2	1.9%
回答なし	1	1.0%
計	104	100%



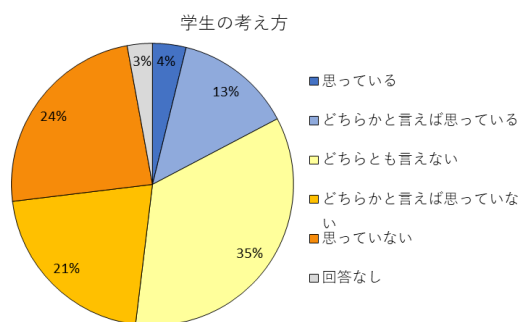
Q8-1. 貴方は、企業に行く Dr について「大学で研究が続けられなくなったから仕方なく企業に行く」と思っていますか

思っている	2	1.9%
どちらかと言えば思っている	17	16.3%
どちらとも言えない	23	22.1%
どちらかと言えば思っていない	21	20.2%
思っていない	40	38.5%
回答なし	1	1.0%
計	104	100%



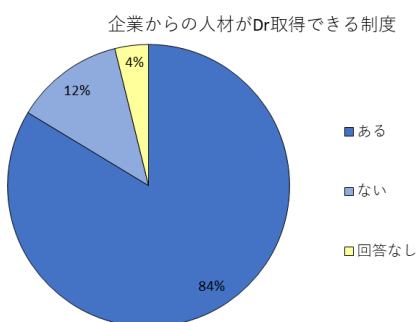
Q8-2. 学生の考え方はどうですか

思っている	4	3.8%
どちらかと言えば思っている	14	13.5%
どちらとも言えない	36	34.6%
どちらかと言えば思っていない	22	21.2%
思っていない	25	24.0%
回答なし	3	2.9%
計	104	100%



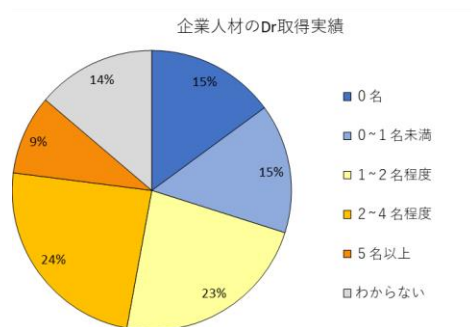
Q9. 企業から人材を受け入れ Dr 取得できる制度の有無

ある	87	83.7%
ない	13	12.5%
回答なし	4	3.8%
計	104	100%



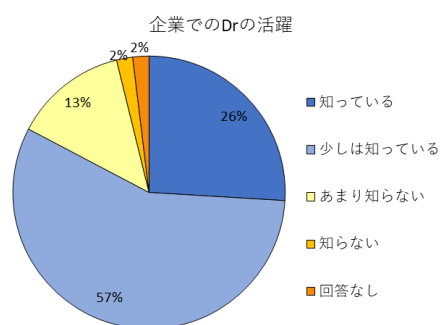
Q10. (9で「ある」と回答した87名の) 学科における、これまでの企業人材の Dr 取得者の実績

年間 Dr 取得者数	回答	
0名	13	14.9%
0~1名未満	13	14.9%
1~2名程度	20	23.0%
2~4名程度	21	24.1%
5名以上	8	9.2%
わからない	12	13.8%
	87	100%



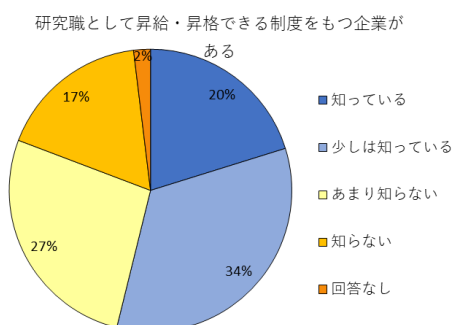
Q11. 企業で Dr がどのような活躍をしているか知っていますか

知っている	27	26.0%
少しは知っている	59	56.7%
あまり知らない	14	13.5%
知らない	2	1.9%
回答なし	2	1.9%
計	104	100%



Q12. 研究職として昇給・昇格できる制度をもつ企業があることを知っていますか

知っている	21	20.2%
少しは知っている	35	33.7%
あまり知らない	28	26.9%
知らない	18	17.3%
回答なし	2	1.9%
計	104	100%



Q13. 国際的な各種調査結果から、日本の科学・技術人材の地盤沈下が進んでいることが懸念されます。この問題への対応に関し、ご意見があればお願いします。

別表 Q13 参照